

-  落語家 笑福亭 学光さんがご講演！
-  狛江・小金井・国立市民の3市で意見交換
-  サイボウズ流働き方改革を視察
-  身近な男女共同参画って？

笑って知ろう 協力しあおう 介護のヒント

狛江市男女共同参画推進フォーラム開催！



「支える側も支えられる側も 笑って知ろう 協力しあう 介護のヒント」

狛江市男女共同参画推進フォーラム（講演会） 平成30年1月21日（日）

落語家 しょうふくてい がっこ 笑福亭学光さんにお話をいただきました！（来場者数：113名）



学光さんは、ご自身もご両親の介護を経験され、地域寄席や老人ホームなどで上方落語の普及に努めるとともに、介護施設等で活動するボランティア「お笑い福祉士」の養成にも力を入れています。

講演は、落語家さんらしく笑いによってスタートしました。徳島県出身ということから阿波踊りを披露され、「下手でも自分が楽しんで踊っていればそれが周りにも伝染していく。寄席や介護も同じで、自分がつらいと言えば周りもつらくなってしまおう。」とお話があり、何ごとにも前向きな気持ちを持ちたいと考えさせられました。

落語の世界は、介護保険ができたことによってお医者さんとの講演が増え、「笑うことによって免疫力が上がる」というお医者さんの話の後には、皆さんそれはたくさん笑ってくれるそうです。介護で多くの方が悩む認知症については、年をとって物を忘れることは普通のことであるというお話から、ちょっとした物忘れを体感できる質問「冷蔵庫にゾウを入れるために必要な3つの動作」を全員で考えて、会場には大きな笑いが起きていました。



学光さんが落語家としてぶつかった悩みについてもお話がありました。子どもを笑わせることは難しく、笑ってもらえると思って言ったことが笑ってもらえず、大変落ち込んだそうです。それでも、「つらいことほど誰かに伝えるべき。伝えると答えは出なくても色々なヒントが出てくる。」とお話され、介護の問題も、協力しあうためには、支える側と支えられる側も、支える側同士も、お互いの気持ちを伝えあっていかなければいけないのだと感じました。

最後には学光さんから、「100歳まで誰のお世話にもならず元気で生きるにはどうしたらいいか」という宿題が出され、つらいときこそ、男性も女性も子どもも大人も、皆で笑いあうことが大事であると改めて実感させられる講演でした。

＜アンケートでお寄せいただいたご意見＞

- ・ 笑いの効用の大きさを改めて認識させられた。大変参考になった。終わってみると、気持ちが前向きになっている気がした。
- ・ 腹話術を使つての話や、いろんな介護予防のゲーム等がとっても楽しかった。ほのぼのと優しい語り口調が心地よかった。介護の暗いイメージを明るく語っていただき、聞いていて安心した。
- ・ 笑い、子育てでも大切だと思いました。怒りたくても笑うことを増やしたいです。
- ・ 女性の参加が圧倒的に多い。男性の参加が望まれる。今後を期待しております。
- ・ 90歳と0歳の介護と育児のダブルケア中です。大変な中、笑うことが少なくなりましたが、口角を上げることから始めます。ありがとうございました。

◆講師の方には、皆で和気あいあいと楽しい講演会を行っていただけた。肩の力が抜けた。

◆替え歌や腹話術など様々なお話が良かった。

◆介護は改善できない課題が多いが、今回は楽しいお話で介護している方にとっても良かったのではないかな。

◆介護の苦しいもの、つらいものを吹き飛ばすような笑いを届けていただいた。会場の皆さんと一体感を持つことが学光さんの魅力だろう。

◆何ごととも皆でやるという全員参加型の考えが伝わったと感じる。 <フォーラムの感想-委員会より->



いろいろな気づきがありました。

狛江市・小金井市・国立市の市民交流会 平成29年6月10日・9月30日・12月16日

<第1回> 『子育てにおける男女共同参画』

6月10日（土）小金井市役所にて
参加者 狛江市3人、小金井市4人、国立市2人

- ◆講義（小金井子育て・子育てネットワーク協議会 佐藤宮子さん、水谷多加子さん）
- ◆グループディスカッション（イマドキの子育てについて意見交換）



参加者
より



「男性の育児休業取得率が増えてきていることもあり、**社会制度**は少しずつ整備されている。」
「イマドキの子育ては、インターネット等を活用して多様な情報を得ることができるが、**インターネット等の情報に頼りすぎている側面がある。**」
「**様々な家庭環境があることを理解し、どんな家庭でも楽しく暮らせる社会となる必要がある。**」



<第2回> 『海外と日本』

9月30日（土）国立市役所にて
参加者 狛江市5人、小金井市6人、国立市2人

- ◆講義（国立市男女平等推進市民委員 ^{ムンヒョスク} 文孝淑さん）
- ◆グループディスカッション（外国にルーツをもつ5人の方々への質問を通じ、海外と日本の違いを知る）

「**ウズベキスタン**では、以前は一時的な人種差別のような状況もあったが、現在では**民族の違いによる区別はなくなっている。**」
「**韓国**人は**子ども中心で教育熱心**。母子だけ海外留学、父は韓国で働くのはよくあること。」
「**タイ**では**共働き家庭が多い**。女性も外で働きたいと思っているが、経済的な目的というよりは社会的価値を求めて働いている。何も仕事をしていないと恥ずかしいという思いがある。」

参加者
より



<第3回> 『介護と男女共同参画について』

12月16日（土）狛江市役所にて
参加者 狛江市7人、小金井市5人、国立市2人

- ◆講義（狛江市男女共同参画推進委員長 西山偕子さん、社会福祉法人狛江福祉会 こまえ苑 石黒昌和さん）
- ◆グループディスカッション（突然やってくる介護に対して、どんな準備をしておけば良いか意見交換）



参加者
より



「ふだんから妻や家族を大切に**する。家族で介護のことを話題にあげる。**」
「**介護する側の体力や、どこまで出来るのかを知ることも大切である。**」
「**独身の男性**が増え、介護を自分の問題として捉えられていない人が多いように感じる。」
「いざという時、**チームワーク**が発揮できるよう準備する。役割分担もチームワークの一つ。」

サイボウズ株式会社を訪問

お話を伺ったのは・・・ 執行役員／社長室長 松村克彦さん

営業本部ソリューション営業部業種2G 中小企業診断士 蒲原大輔さん

男女共同参画推進委員会として初めての視察では、2017年に20周年を迎えたサイボウズを訪問させていただきました。離れた場所、異なる時間でも情報共有を可能とし、チームワークを向上させるグループウェアを提供されています。働き方改革へ先進的に取り組むサイボウズに、そのお話を伺いました！



会社のミッションは「チームあるところにサイボウズあり、サイボウズあるところにチームワークあり」

サイボウズでは、売上や利益を第一の目標とはせず、グループウェアの利用者数拡大が最大のミッションとなっており、これを叶えるためには、まずは自分達自身がチームワーク溢れる会社でなければならないと考えています。このチームワークを作る上で最も大切なことは、会社のミッションに対する共感があるかどうか。目的が一致していれば、多様な人材や働き方が存在しているもまとまることができると考えています。

働き方改革を進める上で重要なのは、「制度」「ツール」「風土」

2005年時点での離職率は28%。そこから働く時間の選択やテレワークなどの取組みを進め、現在は離職率4%にまで下がりました。こうした取組みを進める上で重要と考えたのが次の3つの要素。①制度…育児休暇制度や複業(※)などの職員が多様な働き方をするためのルールの部分、②ツール…自宅にいても会社の情報にアクセスしたり、離れていてもコミュニケーションがとれるテレビ会議などのシステム化の部分、③風土…多様な制度やツールを入れてもチームワークを成り立たせるための思想の部分。サイボウズでは、この3つの要素を同時に進めていかなければ働き方改革は成り立たないと考えています。

※複業…サブ的な「副業」ではなく、マルチな意味で「複」を使用している。

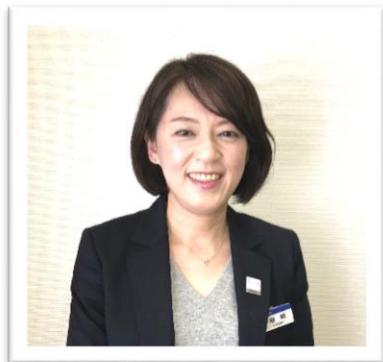
100人いれば100通りの働き方がある

人事制度の方針として、多様な個性を受け入れることと、100人いれば100通りの働き方があるというのを重んじています。いわゆるダイバーシティ経営とは逆の方向であり、サイボウズでは、多様性がないためもっと女性や外国人を活用しようといった“人を加えていく”考え方ではなく、1人ひとりが個性のかたまりであり、すでに十分多様な人が集まっているということをもととして、全ての取組みを進めています。



- ◆多様性というのは、わざわざ色々な方を取り込まなくても、我々自身に多様性があるのだと認識できた。
 - ◆誰が休んでも情報共有できる点が、本当に素晴らしい。情報サービスではなく、人が人を介護する業界の場合、どうすればこのような形になるのか考えたい。
 - ◆企業の方は様々な角度から解決に向けて手を打っており、視察するには多様な角度から知ることが重要だ。
 - ◆社内のブランコを見て、職場でリラクゼーションがとれる試みをする会社は、誰にとっても働きやすいのではと感じた。
- ＜視察の感想-委員会より-＞

「男女」ではなく、「個」を見ることが大事



お話を伺ったのは・・・

みずほ銀行 狛江支店 渉外課長

ひざき ゆみこ

檜崎 祐美子さん

平成3年に一般職として入社。狛江支店には3年前に配属になり、その際、課長へ昇進。休みの日はおいしい食事に出かけたり、近場へ旅行されています。異業種で活躍する仲間との情報交換は幅広い視点が持てる貴重な時間とのこと！

Q1. どんなお仕事をされているか教えてください。

渉外課は営業を担当しており、資産運用や相続、住宅ローンなどの相談を受けています。狛江支店は個人のお客が多くいらっしゃり、担当者がお客様の相談を受ける際に同席することもあります。

Q2. 最初から課長を目指していましたか？

入社当時は女性の先輩は結婚を機に辞める方が多く、身近にロールモデルとなるような方がいませんでした。女性が活躍できるフィールドが広がっていく中で自分が担当者として培ったスキル、ノウハウをマネージャーとして後輩育成に活かしたいという気持ちが強くなり、課長を目指すようになりました。

Q3. 課長になって嬉しかったことはありますか？

部下を育成する立場となり、部下の成長を見ることが大きな喜びとなりました。担当者として自分が目標を達成していた頃よりも、部下の成長をサポートする方が嬉しく感じます。

Q4. 職場で男女の働き方に違いはありますか？

男女の違いというより、個人の働き方の違いになっていると思います。全国転勤を伴うコースと勤務エリアを選ぶコースがありますが、勤務エリアを選べると、ライフイベントの影響を受けやすい女性にとっては働きやすさが増すと思います。最近は勤務エリアを選んだ働き方をしている男性も増えていますよ。

Q5. 職場内のワーク・ライフ・バランスはいかがですか？

職場には会社の制度を活用し、短時間勤務や時差出勤をしている人がいます。子どもを登園をさせてから出勤する男性もいますよ。周囲の理解やサポートが不可欠なので、日々のコミュニケーションを大切にしています。また、職場のルールで最終退社時刻やノー残業デーが決まっていて、残業をする時もメリハリを心がけています。休暇は皆きちんととっています。

私は今年勤続25周年のリフレッシュ休暇があるので、旅先でのゴルフと美味しいものを楽しみにしています。

Q6. 「男女共同参画」について意識していることはありますか？

性別で役割を固定化するのはおかしいと思っても、世間一般的にはまだ「これは男性の役割、これは女性の役割」というイメージが残っている部分はありますよね。そういった性別役割意識は今後、もっと低くなっていくと思っています。妻の仕事が忙しい時に夫が家事をするというのはごく普通のことですよね。私自身、やりたいことがあればどんどんチャレンジしていきたいですし、結局は性別ではなく、その人の「個」を見ることが大切だと思っています。

◆管理職の方とお聞きし緊張したが、明るく朗らかな方で大変楽しくお話を伺うことができた。仕事が忙しい中でも余暇をアクティブに過ごされており、ワークライフバランスの勉強になった。

◆澆刺として温厚な方だった。職場は、性別ありきではなく能力や特性を生かせる“人”を意識しており男女平等と感じる。

<取材の感想-委員会より->

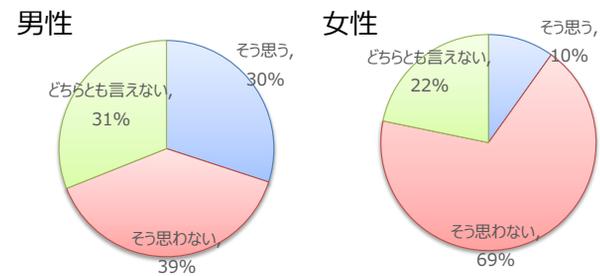


たくさんの方の考えがわかりました！

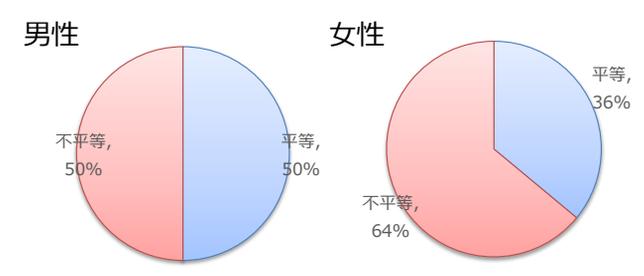
パネル展示と狛江高校生へのアンケートを実施



『小さい男の子がピンクのかばんを選んだら、違う色を薦めると思う。』



『家庭について、男女平等であると感じますか？それとも不平等であると感じますか？』



狛江高校アンケート調査

平成29年6月28日に、狛江高校3年生の皆さんに男女共同参画に関するアンケートを実施。その結果を受けて、「男女共同参画を知ろう！」という啓発ポスターを掲示していただきました。

総回答者数：349人



結果が気になる方は、市ホームページをご覧ください！

<http://www.city.komae.tokyo.jp/>
ホーム > 健康・福祉 > 男女共同参画

狛江市 男女共同参画

検索

男女共同参画を知ろう！

平成29年11月
狛江市政策室協働調整担当
03-3430-1164
kyodot@city.komae.lg.jp

6月28日に実施した「男女共同参画に関するアンケート」は、狛江高校3年生 総勢349名の皆さんに回答していただきました。ご協力、ありがとうございました！
その集計結果から、ぜひ、狛江高校の皆さんにお伝えしたい内容をご紹介します。

知ってもらいたいキーワード！

キーワード、よく知っていましたか？意外と知られていなかったワード1位、2位と、これからの皆さんに知って覚えてもらいたいキーワードをご紹介します！

1 イクボス
職場で一緒に働く部下のキャリアとワーク・ライフ・バランスを応援しながら、自分も仕事に私生活を楽しむことができる上司のこと

2 ワーク・ライフ・バランス
誰もがやりがいや充実感を持ちながら働き、家庭や地域生活なども人生のステップに応じて、様々な生き方を選択・実現できること

*** LGBT**
性的少数者を限定して指す言葉。
L：レスビアン（女性同性愛者）
G：ゲイ（男性同性愛者）
B：バイセクシュアル（両性愛者）
T：トランスジェンダー（身体的な性別と、自分が思う性が違うこと）

デートDV
ってなに？
*デートDV＝交際相手の嫌がることを、し続けること。（恋人による心からの暴力）

家族の役割 自分の家は？

家族の役割は家庭ごとに様々ですが、それぞれの家庭の仕事を受け持つのは「母親」が一番多い結果となりました。

*** 食事の支度**
「母親」を含む回答 93.2%
「父親」を含む回答 14.9%
「自分」を含む回答 15.1%

*** 食事の支度が「母親」だった場合 食事の後片付けも「母親」の回答 55%**
洗濯も「母親」の回答 80%
掃除も「母親」の回答 70%

母親が主に家庭の仕事を受け持つのは悪いことではありませんが、家庭の仕事でも外で働く仕事と同じくらい大変なものであることを、家族みんなが知っていることが大事です。
また、それを母親だけの役割と思わず、色んな状況に応じて、みんなで役割分担する必要があります。

男女平等の視点

男女平等に必要な視点はどんなものですか？

例えば、壁の向う側を見るために、誰かのブロックを配ることは一見平等に感じられても、本当に必要なのは、どんな人も壁の向う側のように、それぞれの人にあるべき大きな力

おたがいを思いやる 認めあう 尊重する

「女性に比べて男性に比べても生きやすい社会」の実現に何が必要か。自由回答では、こんな意見が多かったです！

今後とも委員会の活動にご注目ください！

◆ 共に支えあう、多様性を認めあい働き方改革。できることは協力し、子育て介護も社会全体で意識を変えていくことで社会は変わるから。青少年も共に学びあい、男女共同参画の実現に向けて、楽しみを多く持つために、私もその1人として前向きに。(委員長 西山 偕子)

◇ 100人100通りの働き方を、制度・ツール・風土の3軸で実行している企業訪問。3市共催の男女共同参画会議の参加。落語家の「笑って知ろう 協力しあう 介護のヒント」フォーラム実施。これからも委員会の皆さんと共に活動を広げていきたい。(M, K)

◆ 推進委員会では子育て、ワークライフバランス、介護やLGBTなどなど多方面にアンテナを張り、誰もが自分らしく生きることを考えます。ぜひ皆さんも興味を持って、フォーラムなどにご参加ください。(R, T)

◇ 今年度のフォーラムは落語で「介護」をテーマに開催されました。参加者も笑って笑って、笑顔でお帰りくださいました。重くなりがちなテーマを明るく楽しく、学光さんから口角を上げて笑顔でいることの大切さを学びました。(M, I)

◆ 先日、安倍さんが宣言された「働き方改革」は今に始まった話ではなく、「三度目の正直」とも日本社会にとって「長年の悲願」ともいえるテーマですが、今年度の企業視察先のサイボウズさんには、沢山のヒントがありました。私は行けなくて残念でしたが、今後の活動の参考にしていきたいと思います。(S, S)

◇ 毎年委員会の成長を経験します。今年度は新しい挑戦として働き方改革で話題の企業を視察したり、多摩3市男女共同参画推進のサポーター会議や介護をテーマにしたフォーラム、市内高校へのアンケート調査によって年齢の垣根を超える取組みを行ったりしました。今後は、東京オリンピックを控え、国籍や障がいテーマとした取組みが期待されるので、とてもわくわくしています。(R, H)

◆ 今年度のフォーラムには、とても多くの方に参加していただきました。男女共同参画という言葉が市民の皆様にも少しずつ伝わっているかと思います。これを励みに今後も活動していきたいと思います。(Y, M)

◇ 今年度、新たに委員に選任していただき、当委員会の活動に少しでもご協力できればと思い活動しております。1月のフォーラムは私も初めて参加し、素晴らしいフォーラムでした。皆さん、来年ぜひご参加ください。(M, I)

◆ 狛江市の男女共同参画推進を目指し、様々な事業を行ってきました。より多くの方にご参加いただけるよう、今後も市民の立場として、皆さんが男女共同参画を考えるきっかけづくりが出来たらと思います。(K, Y)

◇ 狛江市は「水と緑の町」として静かな良い環境ではありますが、性別・年齢にこだわらない暮らしやすい町づくりのためにも、地方行政として社会保障の相談窓口や支援制度などの充実強化が必要だと思います。(M, Y)



－ 狛江市男女共同参画推進委員会とは－

内閣府では「男女共同参画社会基本法」に基づき、男女共同参画社会づくりの施策を総合的かつ計画的に推進しています。「狛江市男女共同参画推進委員会」は、この法律に基づき、内閣府の施策を推進し、狛江市の男女共同参画社会の形成を促進するための委員会です。

狛江の暮らしやすいまちづくりのため、会議で意見を交わしたり、皆で協力してフォーラム等を実施したり、日々奮闘しています。

狛江市からのお知らせ

男女共同参画理解のための研修会

〔日 時〕平成30年6月20日（水）午後2時～4時（予定）
〔講 師〕NPO法人ファザリング・ジャパン 勝間 直行さん
〔内 容〕ワーク・ライフ・バランスについて



詳細は、広報こまえ6月1日号をご覧ください！

女性のためのカウンセリング

「今の仕事がつらい」「だるい、やる気が出ない」など、何気ないお悩みをご相談いただけます。
〔日 時〕毎月第2・4水曜日 午前9時～正午（お1人60分）
〔相談員〕カウンセラー（女性）



〔場 所〕
市役所2階市民相談室

*ご予約は、
秘書広報室まで
☎03-3430-1149

カウンセリング・心の相談

〔日 時〕毎月第1・3・5水曜日 午前9時～正午（お1人60分）
〔相談員〕カウンセラー

東京都の男女共同参画に関するサイト

◇東京都生活文化局 男女平等参画

<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/danjo/>



◇TOKYO ワーク・ライフ・バランス

<http://www.tokyo-danjo.jp/lwb/>



◇東京ウイメンズプラザ

<http://www1.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/>



情報冊子&カラフルふせんを差し上げます



- ◆情報冊子「私たちに身近な男女共同参画」
 - ◆キャッチフレーズが印刷された「カラフルふせん」を差し上げます！
- 市役所1階の男女共同参画コーナーや4階政策室、公民館、地域センター、あいとぴあセンターで入手いただけます。

※ 数に限りがあります。



本情報誌に関するご意見や男女共同参画に関するご意見等、下記連絡先までお寄せください。

発行・編集 狛江市男女共同参画推進委員会・狛江市 平成30年3月発行
狛江市 企画財政部 政策室 協働調整担当 〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
TEL 03-3430-1164 FAX 03-3430-6870 E-mail kyodot@city.komae.lg.jp